

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA



～平和と希望への祈り～

広島交響楽団 第357回定期演奏会
The 357th Subscription Concert



© V. Baranovsky

指揮: 高関 健
Conductor: Ken Takaseki

2016 **2.19** 金

18:45開演 (17:45開場)

Fri Feb 19 2016 Start 18:45 (Open 17:45)

広島文化学園HBGホール

〒730-8787 広島市中区加古町3-3

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

私たちは忘れない

ベートーヴェン: 「献堂式」序曲ハ長調 Op.124

Beethoven: Die Weihe des Hauses, Overture in C major Op.124

糀場富美子: 撰氏4000度からの未来 - 管弦楽のために -

Tomiko Kohjiba: Future from 4000°C - for Orchestra -

ショスタコーヴィチ: 交響曲第10番ホ短調 Op.93

Shostakovich: Symphony No.10 in E minor Op.93


チケット(税込/全席指定): S席5,200円・A席4,700円・B席4,200円・学生券1,500円(学生券は広響事務局のみで取り扱い)

エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド・福屋広島駅前店チケットサロン・アルパーク天満屋チケットサロン・広島アーツ楽器
ローソンチケット(Lコード:66407)・チケットぴあ(Pコード:251-983)・中国新聞社読者広報部・中国新聞販売所(取り寄せ)・広響事務局にて販売
チケット発売日: 一般プレイガイド 2015年12月19日(土) / 広響事務局 2015年12月21日(月)

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。 ※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

主催 / 公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成 /  文化庁文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)

後援 / 広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、

テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、広島リビング新聞社



広響公式ホームページ ▲



70周年 広島市被爆70周年記念事業

私たちは忘れない

被爆70年の節目に糺場富美子氏へ新作委嘱し、世界初演とそのライブCD録音で話題となった「摂氏4000度からの未来—管弦楽ために—」の再演です。

今回指揮をとるのは広響第三代音楽監督の高関健。

ショスタコーヴィチの交響曲中、師カラヤンが唯一レパートリーとしていた「第10番」とともに表現します。

戦争を知らない世代への継承が叫ばれる今、決して忘れてはならないものがそこにあります。



© Masahide Sato

〈指揮〉

高関 健

Ken Takaseki

京都市交響楽団常任首席客演指揮者(2014年4月～)、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団常任指揮者(2015年4月～)。

桐朋学園大学在学中の1977年にカラヤン指揮者コンクールジャパンで優勝。翌年同大卒業後、ベルリン・フィル・オーケストラ・アカデミーに留学し、1985年までヘルベルト・フォン・カラヤン氏のアシスタントを務めた。1981年タングルウッド音楽祭でレナード・バーンスタイン氏、小澤征爾氏らに指導を受け、同年ベルゲン交響楽団を指揮してヨーロッパ・デビュー。1983年ニコライ・マルコ記念国際指揮者コンクール第2位。1984年ハンス・スワロフスキー国際指揮者コンクール優勝を経て、1985年1月に日本フィル定期演奏会で日本デビュー。

国内オーケストラはもとより、ウィーン交響楽団、オスロ・フィル、デンマーク国立放送交響楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、クランフオーラム・ウィーン、ブラハ放送交響楽団、ケルン放送交響楽団などに客演。2013年2月のサンクトペテルブルグ・フィル定期演奏会では、ロシアの名門オーケストラから豊潤な響を引き出し、聴衆や楽員から大絶賛を受けた。オペラでは新国立劇場公演「夕鶴」、二期会「魔笛」「フィガロの結婚」「ウリッセの帰郷」、大阪カレッジオペラ「ピーター・グライムズ」などで好評を博し、2009年のピエール・ブーレーズ京都賞受賞記念ワークショップではブーレーズ氏から、ピアノのマルタ・アルゲリッチとチェロのミッシェル・マイスキーをソリストに迎えた2012年の別府アルゲリッチ音楽祭でのシCHEDリン作曲『ピアノとチェロのための二重協奏曲「ロマンティックな捧げもの」』日本初演では両氏からその演奏を絶賛されるなど、ソリストからも絶大な信頼を得ている。

広島交響楽団音楽監督・常任指揮者、新日本フィル正指揮者、大阪センチュリー交響楽団常任指揮者、群馬交響楽団音楽監督、札幌交響楽団正指揮者等を歴任。

1994年には「ブラハの春国際音楽祭」「ウィーン芸術週間」を含む群馬交響楽団ヨーロッパ公演を成功に導いた。渡邊暁雄音楽基金音楽賞(1996年)、齋藤秀雄メモリアル基金賞(2011年)を受賞。東京芸術大学音楽学部指揮科教授。

twitter.com/KenTakaseki

次回定期演奏会 2016 3.11 金 第358回定期演奏会

広島文化学園HBGホール
18:45開演(17:45開場)

祈り、不死鳥の如く

ベートーヴェン ピアノ協奏曲第4番ト長調Op.58

プロコフィエフ 交響曲第1番ニ長調Op.25「古典交響曲」

ストラヴィンスキー バレエ「火の鳥」組曲(1919)

8.6の広島への原爆投下、9.11のアメリカ同時多発テロ、8.20広島市豪雨災害…未曾有の悲劇がその日付とともに記憶されていきます。

2015年度、広響は《被爆70年 HIROSHIMA》として「平和」を唱える多くの公演を行ってまいりました。今宵、年度を締めくくる定期として、マイスキーとの共演でその実力を見せつけたボーガの指揮と、フランスピアノ界を牽引するミッシェル・ダルベルトを招き、3.11…ヒロシマから永遠の祈りを届けます。



© Noslegums Kyadr

〈指揮〉アンドリス・ボーガ



© Jean Philippe Raibaud

〈ピアノ〉ミッシェル・ダルベルト

あなただけの
マイシート**後期定期会員募集中!**

全3公演

S席/12,500円 A席/11,500円 B席/10,500円

お申し込みは広響事務局までお電話ください。(9月16日から2016年1月22日まで受付)